

平成 29 年度 事務事業評価(議会)
(平成 28 年度決算)

分科会評価結果

分科会名	厚生分科会				整理番号	厚生-2		
事務事業名	児童育成クラブ事業							
評価区分 (事務事業の方向性)	①	拡充	2	継続	3	終期設定し終了	4	休止・廃止

〈上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等〉

本事業は、児童が放課後帰宅しても、就労等により保護者が不在である留守家庭児童を対象に、主に校内に設置した施設で預かり、仕事と子育ての両立支援と児童の健全育成を図ることを目的としている。

本市においては、女性の就業率の向上や、子ども・子育て支援法施行に伴う児童福祉法改正による対象児童の年齢引き上げ等で、学童保育の利用ニーズは、急激に高まっていることから、本事業の必要性は高いと認められる。

将来の需要を予測する中で、施設整備や民間放課後児童クラブなどを活用することにより、平成31年度までの定員拡充目標の前倒しを行い、小学6年生までの児童受け入れの早期実現を図る必要があることから、拡充とした。